

第3次小金井市環境保全実施計画（令和6年度）

（前期：令和3～7年度、後期：令和8～12年度）

体系No.		事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				実績（効果）に対する評価		
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実※」「継続」「検討」「完了」※庁内環境マネジメントシステム上、実施計画表（様式1）の策定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）					当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価	実績（効果）に対する評価
						前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）			
体系No	事業等固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	当該事業の数値	当該事業の数値実績（複数可）	当該事業の数値実績	実績（効果や課題）	兆（概ね同じ内容・規模） B…拡大・	に対する評価_実績（効果）	
000 計画推進の基礎づくり																		
010 基礎1 環境教育・環境学習																		
011 学習の場・機会の創出																		
011		011-1	環境講座	環境啓発事業の一部として環境講座を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		環境学習館及び滄浪泉園緑地で小学生を対象とした環境講座「小金井の地下水を学ぶ」（13人）を実施した。	気候非常事宣言にも記載する「環境教育の充実」の一環として、地球温暖化や気候変動等の問題や水資源の大切さ学び、環境意識の醸成を図っていた。	A	A
011	重複	011-2	環境フォーラム	環境をテーマに活動する様々な団体が交流の輪を広げ、情報共有・意見交換を行う場として、環境フォーラムを開催する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和7年3月に小金井 富地楽器ホール等で環境フォーラムを開催 延べ1,373人の方が参加された。	「令和6年度こがねい環境フォーラム～みんなで考える小金井の環境～」と題して、自然と人が共生できる社会をめざすため、都市に暮らしながらできることは何か、様々な角度から考える機会にしていたことができた。	A	A
011	重複	011-3	野川フィールドワークの実施	市民・事業者・市民団体等と行政が協働して、河川の一斉清掃などを定期的に実施する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		10月6日に「野川環境フィールドワーク」として実施 延べ78人の方が参加された。	野川をフィールドワークに植物および生き物の採集・観察会、清掃活動を通じて野川流域の環境保全を考えていただけるイベントとなった。	A	A
011		011-4	環境施設見学会	環境啓発事業の一環として環境関連施設の見学会を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	C		令和5年度より廃止	野川クリーンセンター、メタウォーターサステナブルパークこがねい等で工場見学会を実施しているため、令和5年度より廃止とした。	C	-（その他）
011		011-5	小金井市環境賞	環境活動に功績のあった市民、市内の団体または事業者を表彰する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和5年度は41作品の応募だったが、令和6年度は65作品の応募があった。	年々応募作品が増えて、作品の多様さやクオリティが向上している。環境保全に対する意識を学齢期から育む機会となっている。	A	A
011	重複	612-6	くるかメ出張講座	市のごみの分別やごみ処理の行方、リサイクルについてなどを分かりやすく解説する出張講座を行う。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		出張講座（7回）等で啓発活動を実施。（オンラインでの学習教材等提供で対応できるようにしたが、より充実している必要がある。）	出張講座に際し使用する教材のデジタル化により、教育委員会への提供、HP掲載による周知効果の向上を図る。	A	A
011		011-7	小金井市まなびあい出前講座	行政、各団体、企業等の協力を得て、職員・社員が市民方へ向けて情報を提供する「小金井市まなびあい出前講座」を行う。メニューに環境、まちづくり、防災、教育等がある。	生涯学習課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		出前講座の実施回数 21回	前年度（19回）と比較し、実施回数が増えた	A	A
011	重複	011-8	公民館事業	公民館事業（子ども体験講座、市民講座、成人学校等）で環境をテーマとする講座等を開催する。	公民館	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	市民講座、成人学校等主催講座を実施した。	環境をテーマとした講座を複数回実施。	参加者の環境問題への意識を高めることができた。	A	A
011		011-9	環境学習の推進（環境教育資料の提供）	環境教育にかかわる資料を学校に提供する。	指導室	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		東京都等が作成する資料やホームページなどを紹介	各校の教育課程にそった環境教育が推進された。	A	A
011		-	-	（上記の他にも、基本目標1～7の各取組を通じて、学習の場・機会の創出を行う。）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
012 担い手の創出																		
012		-	-	（「011_学習の場・機会の創出」と概ね重複するため省略。）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

体系No.		事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				実績（効果）に対する評価		
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」を「継続」検討「完了」を「廃止」検討「新規」を「新規」検討 ※市内環境マネジメントシステム上、実施計画書（様式1）の決定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）					当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価	実績（効果）に対する評価
						前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）			
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	当該事業の数値	当該事業の数値実績（複数可）	当該事業の数値実績（複数可）	実績（効果や課題）	実績（効果）に対する評価	
020 鳥獣2 環境活動																		
021 市民協働体制の強化																		
		021-1	環境市民会議との協働	環境市民会議による活動を支援する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	補助金交付による活動の支援のほか、複数回協議を実施した。	環境保全に関して共有することができ、連携が図れている。	A	A	
21	重複	131-2	専門機関によるみどり調査	みどりの基本計画策定時期にあわせ、定期的に専門機関による調査を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	みどりの基本計画中間調査も予定しているため、調査を見送った。	環境市民会議のみどり調査メンバーの高齢化により調査が難しい面もあるため、支援内容を協議する必要がある。	A	-（評価になじまない）	
021	重複	132-1	環境美化サポーター制度（公園）	「小金井市環境美化サポーター制度実施要綱」に基づく環境美化サポーター制度の活用促進する。また、公園で活動する環境美化サポーターに対して、用具の提供や廃棄物処理手数料の免除の支援を行うとともに、ボランティア同士の情報交換会を定期的に実施する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	新たに1団体が登録し、用具の提供等を行った。情報交換会や意見交換会も定期的に開催し、新規ボランティアとサポーター同士の横のつながりを作るためにボランティア養成講座を実施した。（環境美化サポーター数（公園）363名）	活動の継続、モチベーションの向上を図るための情報交換会やボランティア養成講座を実施したことで、各公園で活動するサポーター同士の交流の機会を図ることができた。	A	A	
021	重複	322-4	田んぼの時間	東京学芸大学がもつ休耕田をフィールドに環境市民会議（環境学習部会）が行う、代掻きから収穫まで体験する活動「田んぼの時間」について、広報等の支援を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	年間で8回行われた活動を広報掲載等の支援を行った。	小金井市環境市民会議との共催事業であり、稲作体験等を通して市民に生物多様性や伝統文化について理解を深めていただいた。	A	A	
021	重複	521-3	環境美化サポーター制度（道路）	小金井市環境美化サポーター制度実施要綱による環境美化サポーター制度や意義向上を図る。	道路管理課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	団体及び個人により市道等の清掃が行われている。会員数は70名。市民との協働による環境美化活動を推進した。	-	A	A	
021		021-6	こがねい市民活動団体リスト	市民活動団体の情報が掲載された「こがねい市民活動団体リスト」を更新する。	コミュニティ文化課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	令和6年8月1日に改訂版のリストを発行した。（「環境」分野登録団体 11団体）	こがねい市民活動団体リストの改訂版を作成し、ネットワークづくりに寄与した。	A	A	
021		021-7	こがねい市民講師登録・紹介制度	市民の生涯学習活動を支援するため、市民講師を登録し、サークルや団体等の求めに応じて援助者として活動する制度である。	生涯学習課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B	講師派遣依頼がない	-	C	-（評価になじまない）	
021		021-8	社会教育関係団体	社会教育関係団体の登録充実と支援を行うとともに、市民への周知や環境を含めた学習機会への活用を図る。	生涯学習課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	登録数 83	登録数は減少している	B	B	
021		021-9	環境学習の推進（講師等の紹介）	学校の環境学習活動への派遣要請に対して講師等を紹介する。	指導室	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	東京都等が紹介する講師に係る情報提供	各校の教育課程にそった環境教育が推進された。	A	A	
021		-	-	（上記の他にも、基本目標1～7の各取組を通じて、市民協働体制の強化を図る。）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
022 場・人材・情報のネットワーク化																		
022	重複	011-2	環境フォーラム	環境をテーマに活動する様々な団体が交流の輪を広げ、情報共有・意見交換を行う場として、環境フォーラムを開催する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	令和7年3月に小金井 富地楽器ホール等で環境フォーラムを開催。延べ1,373人の方が参加された。	「令和6年度こがねい環境フォーラム～みんなで考える小金井の環境～」と題して、自然と人が共生できる社会をめざすため、都市に暮らす私たちができることは何か、様々な角度から考える機会にさせていただくことができた。	A	A	

体系No.		事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				実績（効果）に対する評価		
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」 「継続」 「検討」 「完了」 ※市内環境マネジメントシステム上、実施計画書（様式1）の指定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）					当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価	実績（効果）に対する評価
						前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）			
022		-	-	(上記の他にも、基本目標1～7の各取組を通じて、場・人材・情報のネットワーク化を図る。)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
030 基盤3 情報発信・共有																		
031 効果的な情報発信																		
031		031-1	環境基本計画の普及啓発	環境基本計画の周知啓発を行う（市ホームページ、公共施設、環境フォーラム等のイベント等）。また、市民団体・教育機関等とのネットワークづくりを進め、それらを介した新たな発信方法を追求する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	環境市民会議へ周知を行った。市ホームページで公開するほか公共施設や環境フォーラムで概要版を配布した。	SNS等での発信を検討する。	A	A
031	重複	031-2	「小倉井市環境行動指針」の活用	「小倉井市環境行動指針」を活用する。（市ホームページ、環境フォーラム等のイベント等）	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	市ホームページで公開するほか公共施設や環境フォーラムで配布した。	関心のある市民に手に取ってもらえる環境を整備できた。	A	A
031	重複	612-2	市報でのごみ減量・リサイクル特集記事	市報に「ごみ減量・リサイクル特集」を掲載する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	市報に「ごみ減量・リサイクル特集」を年3回（7月、12月、3月）掲載し、各種イベント情報や正しい分別方法の周知、ごみ減量の啓発を図る。	転入者が多いので、くりかえし周知や啓発を行うことが必要となる。	A	A
031	重複	611-1	食育ホームページ	食と環境（地産地消）について考えてもらうためのサイト「食育ホームページ」を、ポランティアからなる食育ホームページ編集委員会が作成・更新する。	健康課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	数値実績なし	小倉井産の野菜を使用したレシピを季節に合わせて掲載している。	A	A
031		-	-	(上記の他にも、基本目標1～7の各取組を通じて効果的な情報発信を行う。)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
032 環境情報の共有																		
032	重複	032-1	環境報告書の公表	環境基本計画に基づき実施された施策の進捗状況、市の環境情報を記載した環境報告書を毎年公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	令和5年度版を作成・公表した。	第3次環境基本計画に合わせた改訂を実施した。	A	A
032		-	-	(基本目標1～7の各取組について環境情報の共有を行う。)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
100 みどりを守り、つくり、育てる																		
110 みどりの保全																		
111 まちなかのみどりの保全																		
111		111-1	環境緑地・公共緑地の保全	小倉井市緑地保全及び緑化推進条例に基づき、環境保全緑地（環境緑地・公共緑地）の指定・保全を行う。また、奨励金以外の維持管理補助などの助成措置等、現在の補助制度の在り方を検討する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	令和6年度に見直した新規申請時期の緩和について、市報及びホームページにて周知した。	市報及びホームページにより効果的に情報発信に努めた。	A	A
111		111-2	保存樹木、保存生け垣の指定	小倉井市緑地保全及び緑化推進条例に基づき、保存樹木、保存生け垣を指定するとともに、制度について分かりやすく周知を図る。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	令和6年度に見直した新規申請時期の緩和について、市報及びホームページにて周知した。（保存樹木 794本）	市報及びホームページにより効果的に情報発信に努めた。	A	A
111	重複	111-3	生け垣造成奨励金交付制度	道路に面して新たに生け垣をつくる場合に費用の一部を助成する。制度の適用対象を拡大し、より活用しやすい制度とする。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	申請に係る多い問合せ及び様式について、ホームページにて掲載内容を更新かつアップロードできるようにした。	ホームページにより効果的に情報発信に努めた。	A	A

体系No.		事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				実績（効果）に対する評価		
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」 「継続」 「検討」 「完了」 ※市内環境マネジメントシステム上、実施計画書（様式1）の決定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価	実績（効果）に対する評価
						前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）			
体系No	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	当該事業の数値実績	当該事業の数値実績（複数可）	当該事業の数値実績	実績（効果や課題）	実績（効果や課題）	実績（効果）に対する評価
XYZ		XYZ-N																
111		111-4	環境配慮基準の見直し（樹木）	環境配慮基準の「1.緑を守り育てる」に関する規定を見直し、宅地開発時の既存樹木の保全割合を検討する。	環境政策課	検討	通用	検討	検討	継続	継続	継続	A		緑化指導基準の運用していく中で検討した。	既存樹木の保全は所有者及び開発事業者の負担が強いため、慎重に検討する必要がある。	A	B
111	重複	112-2	体験農園	農家が開設する体験型市民農園に対する支援等を行う。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■体験農園 農園数：1農園 区画数：10区画 区画面積：300㎡	体験農園では、夏作・秋作の農作物の講習会を実施し、農業者と市民との交流を深めた。	A	A
111	重複	112-3	市民農園	市民農園の整備を進める。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■市民農園 【市営】 農園数：7農園 区画数：286区画 面積：5,577.37㎡ 【民営】 農園数：2園 区画数：107区画 面積：2,704㎡ 内容：市民が農作業を通じて土に親しみ、生産の喜びを味わうなど余暇生活の実現に貢献した。	令和6年4月1日から1園開園した。都市農地の貸借の円滑化に関する法律の施行に伴い、生産緑地に市民農園開設も可能になったことから、市内農家が集まる支部別座談会でパンフレットを配布し周知を行った。	A	A
111		111-7	みどりの実態に関する情報共有	事業者・市民にみどりの実態に関する情報を共有し、保有者に対して保全を働きかける。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		生産緑地の買い取り申請時等に保有者にみどりの保全について協力をお願いしている。	新たな支援制度などを関係部署と連携しながら、情報提供を行った。	A	A
112 農地の保全・活用																		
112		112-1	生産緑地地区の追加指定	生産緑地法等の改正に伴う生産緑地地区の指定基準緩和を受けて、農業者に積極的に周知を行い、追加指定による生産緑地地区の増加を図る。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		通年で追加指定に係る申請を受けていることを周知した。	生産緑地の追加指定が4件あった。	A	A
112	重複	112-2	体験農園	農家が開設する体験型市民農園に対する支援等を行う。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■体験農園 農園数：1農園 区画数：10区画 区画面積：300㎡	体験農園では、夏作・秋作の農作物の講習会を実施し、農業者と市民との交流を深めた。	A	A
112	重複	112-3	市民農園	市民農園の整備を進める。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■市民農園 【市営】 農園数：7農園 区画数：286区画 面積：5,577.37㎡ 【民営】 農園数：2園 区画数：107区画 面積：2,704㎡ 内容：市民が農作業を通じて土に親しみ、生産の喜びを味わうなど余暇生活の実現に貢献した。	令和6年4月1日から1園開園した。都市農地の貸借の円滑化に関する法律の施行に伴い、生産緑地に市民農園開設も可能になったことから、市内農家が集まる支部別座談会でパンフレットを配布し周知を行った。	A	A

体系No.		事業や取組の概要				実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				実績（効果）に対する評価	
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」継続「検討」「完了」 ※市内農地マネジメントシステム上、実施計画書（様式11）の確定及び実績報告書（様式6）の記入が必要（別シート参照）					当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価	実績（効果）に対する評価
						前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）			
体系No	事業等	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	当該事業の数値	当該事業の数値実績（複数可）	当該事業の数値実績	実績（効果や課題）	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価
XYZ		XYZ-N																
112		112-4	高齢者農園	高齢者農園の整備を進める。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■高齢者農園 農園数：2農園 区画数：95区画 面積：1,371.83㎡	高齢者農園の利用希望者は多く後期高齢者の利用も43.2%と全体の約4割を占めており、介護予防に繋がることが期待されるなど高齢者農園がコミュニティの形成と健康促進の役割を果たしている」と評価できる。	A	A
112		112-5	都市農地保全推進自治体協議会	都市農地を有する自治体で構成する都市農地保全推進自治体協議会にて、都市農地の保全・活用の調査・研究を推進する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B	他のイベントと重なったため不参加となった。	都市農地保全自治体フォーラムについては、令和5年度から実施しないこととなったが、自治体間が連携しながら都市農地の保全・活用の調査・研究を推進するための勉強会（都市農業サロンの開催や全国都市農業フェスティバルの令和7年度開催に向けたイベントが開催されたが、不参加となった。	自治体が抱える課題などの情報共有の場として都市農業サロンの開催や全国都市農業フェスティバルの令和7年度開催に向けたイベントが開催されたが、不参加となった。	A	B
112		112-6	援農ボランティア	市内農家の農作業を手伝う「援農ボランティア」を養成する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■援農ボランティア事業 参加者数：5人 認定者数：5人	援農ボランティア事業では、市内の圃場で1人の実習生が草取り、肥料の運搬、収穫、出荷作業などの作業を農業者から直接指導を受け、1人の実習生が認定を受けた。	A	A
112		112-7	苗木無料配布	営農を支援するため、市内農家が生産する苗木の無料配布事業を実施する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続			■春の苗木：400本 ■秋の苗木：400本	小金井市民を対象に、抽選による苗木の無料配布を実施した。市内の緑化推進と苗木の苗木生産振興に寄与した。	A	A
112		112-8	営農困難な都市農地の貸借を推進	「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」の施行により、意欲ある農業者や新規就業者、また、市民農園を開設したいと考える民間企業等が生産緑地を借りやすくなったことから、営農困難な生産緑地の貸借を推進し、農地の活用を図る。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■都市農地の貸借の円滑化に関する法律による農地の貸借：4件（10,771.93㎡）	農地の貸借制度について、適宜周知を行ってきた結果、貸借による営農困難農地の解消に繋がった。更に、営農困難農地の解消に向け、周知、相談を継続していく。	A	A
112		112-9	学童収穫体験事業	市内小学校を対象とした収穫体験事業への支援を行い、土に触れる喜びと作物収穫の感動と農業への理解を促進する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■学童収穫体験事業 参加児童数：1,693人	土にふれあい、収穫の喜び、地場産野菜を味わい、身近な農への関心を高める機会とした。	A	A
112		112-10	イベントを通じた交流機会の拡大	農業祭等のイベントを通じた魅力ある交流を進める。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■農業祭品評会出展数 893点 ■絵画コンクール申込者数 224人 ■道草市 開催回数：5回 後援回数：5回 ■親子収穫体験 開催：2回 参加者：19組	農・商工業・観光一体となったイベントがなない産業まつりを開催した。 農業部門では、農家の販売ブースの設置、宝島の野菜の配布、品評会、農業絵画コンクールを実施した。 道草市では、商業、農業・介護・子育ての関係者が、地域コミュニティ賑わいを図る目的でイベントを開催し、採れたの地場産野菜等の販売や芋ほり体験等を通じて市民との交流や地場産の野菜等のアピールにつながった。 親子収穫体験では、キャベツとブロッコリーの収穫体験を実施した。農業と食育への関心と地産地消へのアピールにつながった。	A	A
112		112-11	地場産野菜を活用した料理講習会	一日生活教室を通じ、地場野菜を使った料理講習会を実施する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■料理講習会 開催回数：1回 参加人数：16人	地場産の野菜を使った料理教室を開催した。	A	A

体系No.		事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				実績（効果）に対する評価		
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」 「継続」 「検討」 「完了」 ※市内環境メンテナンスシステム上、実施計画書（様式1）の決定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）					当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価	実績（効果）に対する評価
						前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）			
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	当該事業の数値	当該事業の数値実績（複数可）	当該事業の数値実績	実績（効果や課題）	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価
XYZ		XYZ-N																
112		112-12	学校給食地場産野菜利用促進	学校給食の地場産野菜の導入率を高めるため、栄養士と農家の打合せ等の調整について協力する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	■給食提供農家園見学：1農園	学校給食への地場産野菜の積極的な導入を図るため、市内公立小・中学校の栄養士向けに園見学を実施した。給食に納品されている野菜等の園見学や生産農家との意見交換等を通じて地場産野菜の利用促進への理解を深めた。	A	A	
112		112-13	環境保全型農業の推進	東京都エコ農産物認証制度を利用し、減農薬と減化学肥料に取り組む。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続		■エコ認証 0件	窓口にてチラシを配架。認証を受けた農家はいなかった。	A	B	
120 みどりの創出																		
121 公園・緑地の創出・活用																		
121		121-1	公園等の適切な維持管理	児童遊園・子供広場・緑地・都市公園の維持管理を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	多様化する住民要望に応えるために、令和6年度から指定管理者制度を導入し、経験やノウハウを活用し、適切な維持管理を開始した。	指定管理者との綿密な協議のもと維持管理を開始し、全ての市立公園を週1回以上定期的に巡回することにより、予防的な観点での維持管理につながっている。	A	A	
121		121-2	新たな公園等の整備	優先的に整備が必要な小長久保公園、三菜公園、梶野公園及び（仮称）東小金井駅土地区画整理事業1号公園を整備する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	三菜公園及び梶野公園にて、インクルーシブデザインに配慮した遊び場、菜園及び子どもの居場所の整備に向けた設計を行った。	三菜公園及び梶野公園に係る関係団体、公園周辺の隣接地権者等、丁寧な調整を実施した。	A	A	
121	重複	121-3	指定管理者制度等の民間活力導入	都市公園の魅力向上のため、指定管理者と連携し、市民協働を推進する。	環境政策課	検討	実施	検討	検討	検討	継続	継続	A	令和6年度から指定管理者による市民協働のもと、関係団体と協議の場を設け、意見交換・情報交換を重ねた。	市内事業者や環境美化サポーター、障害者団体等各関係団体と協議の場を設け、各種事業実施にあたっては綿密に連携を図った。	A	A	
121		121-4	低未利用公園等の整理	利用者数の少ない公園等について土地利用転換を含めた有効な利活用について検討をする。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	調整のうえ、桜町こぶ公園を防災倉庫用地に用途変更した。	公園周辺の自治会や隣接地権者への丁寧な説明を重ね、合意形成を図る必要がある。	A	A	
121	重複	121-5	小・中学校の運動場芝生維持管理	小・中学校（6校）の運動場芝生維持管理を進める。	庶務課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	小・中学校（6校）の運動場芝生維持管理を行った。	ボランティアの参画による地域連携と芝生を活かした教育活動に貢献している。	A	A	
121	重複	312-4	学校ピオトープ等の維持管理	学校花壇・農園・ピオトープ等の適正な維持管理に努める。	指導室	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	学校花壇や農園、ピオトープ等の適正な維持管理	児童・生徒を取り巻く環境が整備された。	A	A	
121		121-7	公共施設の建設・改修工事における緑化	公共施設の建設・改修工事の際には緑化を促進する。	関係各課	随時	随時	継続	継続	継続	継続	継続	A	小金井市環境配慮指針に従い、敷地面積から建物面積を除いた面積の20%以上の緑化を設計に反映。	-	A	A	
121		121-7	公共施設の建設・改修工事における緑化	公共施設の建設・改修工事の際には緑化を促進する。	関係各課								A	-	推進中	-	-（評価になじまない）	
122 みどりのまちなみの創出																		

体系No.		事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				実績（効果）に対する評価		
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」継続「検討」「完了」 ※市内環境マネジメントシステム上、実施計画書（様式1）の策定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）					当該事業の数値実績（複数可）		実績（効果や課題）	実施状況に対する評価	実績（効果）に対する評価	
						前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）				当該事業の数値実績（複数可）
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	当該事業の数値	当該事業の数値実績（複数可）	当該事業の数値実績（複数可）	実績（効果や課題）	実績（効果や課題）	実績（効果）に対する評価
XYZ		XYZ-N																
122		122-1	環境配慮基準の見直し（屋上緑化・壁面緑化等）	環境配慮基準の1.緑を守り育てるに関する規定を見直し、屋上緑化、壁面緑化も緑化面積に含めることを検討する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		環境配慮基準の見直しについて検討した。	-	A	A
122		122-2	緑化指導に関する規定の制定	新たに緑化指導に関する規定を制定し、指定開発事業に該当しない規模の建築行為に対しても緑化指導を行う。	環境政策課	制定・適用	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A		緑化等指導基準を策定し、令和4年度から適用を開始し周知を行った。	周知が広がり、令和6年度は45件の緑化に係る申請があった。	A	A
122	重複	111-3	生け垣造成奨励金交付制度	道路に面して新たに生け垣をつくる場合に費用の一部を助成する。制度の適用対象を拡大し、より活用しやすい制度とする。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		申請に係る多い問合せ及び様式について、ホームページにて掲載内容を更新かつアップロードできるようにした。	ホームページにより効果的に情報発信に努めた。	A	A
122		122-4	緑化の手引きの作成	事業者・市民に向けた「緑化の手引き」を作成し、緑化手法や維持管理に関する技術等の情報提供を行う。	環境政策課	作成・適用	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A		市報・ホームページ、市役所窓口にて周知した。	市報及びホームページにより効果的に情報発信に努めた。	A	A
122		122-5	街路樹の管理	都市計画道路の整備に当たっては、歩道に植樹帯等を設け、街路樹を植栽する。景観形成機能や生き物の生息空間等の創出機能にも配慮し、適切な管理を進める。	道路管理課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市道第12号線の植栽帯にツツジを640株補植した。	-	A	A
130 みどりをはくむ市民活動の促進																		
131 みどりを知り、親しむ機会の創出																		
131		131-1	みどりに関する情報発信	みどりの基本計画、みどりの実態調査、ガーデニングや緑化の事例、支援制度、ボランティア活動等、みどりに関する情報発信を充実する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		花壇ボランティアの協力により公園の花壇植替えイベントも5回及びボランティア養成講座を、市報等周知のうえ実施した。	支援制度の周知により、新たなメンバーの加入や1団体の環境美化サポーターの登録があった。	A	A
131	重複	131-2	専門機関によるみどり調査	みどりの基本計画策定期間にあわせ、定期的に専門機関による調査を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		みどりの基本計画中間調査も予定しているため、調査を見送った。	環境市民会議のみどり調査メンバーの高齢化により調査が難しい面もあるため、支援内容を協議する必要がある。	A	-（評価になじまない）
131		131-3	環境学習の充実	小中学生や子育て世代などを対象とした環境学習の充実を図る。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		・子ども環境ワークショップ（対象：乳幼児から小学生低学年） ・環境講座「小金井の地下水を学ぶ」（対象：小学生） ・森林教育事業（対象：中学生）等、様々な環境学習機会を創出した。	乳幼児から中学生まで、様々な年齢、学年を対象とした環境学習の場を提供することで、環境啓発意識を醸成することができた。	A	A
132 協働による活動の推進																		
132	重複	132-1	環境美化サポーター制度（公園）	「小金井市環境美化サポーター制度実施要綱」に基づく環境美化サポーター制度の活用促進する。また、公園で活動する環境美化サポーターに対して、用具の提供や廃棄物処理手数料の免除の支援を行うとともに、ボランティア同士の情報交換会を定期的に実施する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		新たに1団体が登録し、用具の提供等を行った。情報交換会や意見交換会も定期的に行い、新規ボランティアとサポーター同士の横のつながりを作るためにボランティア養成講座を実施した。	活動の継続、モチベーションの向上を図るための情報交換会やボランティア同士の交流の機会を創出した。	A	A

体系No.		事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				実績（効果）に対する評価		
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」 「継続」 「検討」 「完了」 ※市内環境マネジメントシステム上、実施計画書（様式1）の確定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）					当該事業の数値実績（複数可）		実績（効果や課題）	実施状況に対する評価	実績（効果）に対する評価	
						前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）				当該事業の数値実績（複数可）
体系No	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	当該事業の数値実績	当該事業の数値実績（複数可）	当該事業の数値実績	実績（効果や課題）	実績（効果や課題）	実績（効果）に対する評価
XYZ		XYZ-N																
132		132-2	花壇ボランティア・剪定ボランティアへの支援	花壇ボランティアや剪定ボランティア同士の情報交換会を定期的実施する。また、スキルアップの為、講座形式でみどりの知識や管理など技術を習得できる仕組みを検討する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		技術向上を図るために、専門家による公園花壇でのボランティア養成講座を実施した。	活動の継続、モチベーションの向上を図るための情報交換会やボランティア養成講座を実施したことで、各公園で活動するサポーター同士の交流の機会を図ることができた。	A	A
132		132-3	公園サポーター会議設置の検討	裾野公園サポーター会議をモデルに、地域住民が管理するモデル公園の選定。公園サポーター会議の設置を検討する。	環境政策課	検討	拡大	検討	検討	継続	継続	継続	A		三楽公園の整備工事について、自治会と複数回の協議を重ねることで、公園の課題共有及び解決策を共有した。	令和6年度以降、子どもの遊び場整備事業を行うこととなったため、継続して自治会や関係者、周辺住民等と信頼を構築しながら整備事業を進めた。	A	A
132		132-4	気軽に参加できるボランティア制度の検討	子育て世代や子どもが空いた時間に気軽に参加できるボランティア制度の導入を検討する。	環境政策課	検討	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A		公園花壇ボランティアの活動と協働し、親子で参加できるイベントを5回実施した。	日頃利用している公園で花の植え替え体験を実施したことで、公園の愛着を高めることができ、公園を大切に利用しようとする気持ちの醸成することができた。	A	A
132		132-5	みどりに関する新たな購入確保	みどりに関する募金等、新たな購入確保につながる仕組みづくりを検討する。	環境政策課	検討	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A		各イベント実施時に合わせてみどりの募金を呼び掛けた。	今後も新たな購入の確保に向けた検討をする。	A	A
200 地下水・湧水・河川の水循環を回復する																		
210 地下水・湧水の保全																		
211 地下水・湧水等のモニタリング																		
211		211-1	水質監視測定	市内井戸の水質測定を行い、地下水保全会議等を通じて結果を分析・公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		報告書をホームページに掲載した。	調査結果に異常は見られなかった。	A	A
211	重複	211-2	湧水調査	市内の湧水調査（水質調査、底生生物調査、付着藻類調査）を行い公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		報告書をホームページに掲載した。	調査結果に異常は見られなかった。	A	A
211		211-3	湧水測定見学等	湧水測定の見学会等を行う。	環境政策課	準備検討	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A		環境講座「小金井の地下水を学ぶ」内で湧水の水質、水温等を測定した。	普段経験することができない水質、水温等の測定を講座内で体験することができた。（国土交通省「水の日」関連事業として実施）	A	A
211		211-4	地下水位測定	市の管理する井戸または所有者に許可を得た井戸について水位測定を行う。	環境政策課	準備検討	継続	検討	検討	継続	継続	継続	D	実施検討中	自動記録計については、故障等によるメンテナンス費用がかかること、委託事業で地下水位測定を行っていることから、検討した結果、自動記録計設置の導入を見送ることとした。	-	C	-（その他）
212 住宅地等における雨水浸透の促進																		
212	重複	212-1	雨水浸透施設等設置助成金交付事業	雨水浸透ますの設置について、市民に対する支援の情報を広報して設置の協力をお願いし、助成金を交付する。なお、助成対象は昭和63年8月以前に建築された建物である。	下水道課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		申請件数3件、設置浸透ます8個	市民に設置に係る支援の情報を広報して設置の協力をお願いし、昭和63年8月以前の建築物を既存の建物とし、助成金を交付した。	A	A
212		212-2	雨水浸透ます設置工事	道路上に雨水浸透ますを設置することにより、下水管きよへの雨水流入を抑制する。	下水道課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続			浸透ます34基設置	下水道管に流入する雨水量の削減	A	A

体系No.		事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				実績（効果）に対する評価		
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」を「継続」に「完了」にする。また、実施計画書（様式1）の策定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					当該事業の数値実績（複数可）		実績（効果や課題）	実施状況に対する評価	実績（効果）に対する評価	
						前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）				当該事業の数値実績（複数可）
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	当該事業の数値実績（複数可）	当該事業の数値実績（複数可）	当該事業の数値実績（複数可）	実績（効果や課題）	実績（効果や課題）	実績（効果）に対する評価
XYZ		XYZ-N																
212		212-3	歩道における透水性舗装	歩道舗装を透水性舗装にすることで、道路雨水の浸透を促進する。	道路管理課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	市道第1号線の歩道舗装2.3mを透水性アスファルト舗装に変更した。	-	A	A	
213 開発事業等における地下水への影響の未然防止																		
213		213-1	環境配慮計画書	開発工事事業者・市民等に地下水保全条例の周知を継続する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	開発工事事業者から事前相談があった際には、条例を周知した。	条例を周知することができた。	A	A	
213		213-2	地下水保全会議の開催	開発事業等による地下水への影響について、ボーリング調査データ等から状況を把握するとともに、提出された書類に基づき地下水保全会議の意見を聴き、必要に応じて地下水への配慮を求める通知を行うなどして影響の未然防止に努める。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	地下水影響工事の届出 0件	-	A	-（評価にじまない）	
214 崖線をはじめ湧水源となるみどりの保全																		
214		214-1	国分寺崖線のみどりの保全	国分寺崖線斜面及び周辺部のみどりを保全緑地制度等で守る。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	保全緑地制度を活用し、民有地の国分寺崖線上のみどりを環境緑地として41,101.83mを保全している。（環境緑地全体は47363.43m）	引き続きみどりの軸として保全に努める。	A	A	
214		214-2	滄浪泉園でのイベント開催	特別緑地保全地区に指定されている滄浪泉園で、市民がみどりの大切さを理解するきっかけとなるようイベント開催等を通じて周知に努める。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	近隣市との共同で行われるスタンプラリーへ参加したり、市内中学生が作成した園内水琴窟の標識等を設置し、また指定管理者による各種イベントを実施し、ホームページ等で周知することで、当該緑地の更なる周知を行った。	滄浪泉園緑地を知ってもらう機会とし、また、来園いただく機会となった。	A	A	
214	重複	312-2	野川自然再生事業	野川自然再生協議会に参加し、野川調節池での自然再生事業に係る活動の運営を支援する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	野川第一・第二調整池自然再生協議会に参加した。	-	A	-（評価にじまない）	
220 河川環境の保全																		
221 水質汚濁の発生防止																		
221		221-1	下水道法による水質規制	法等に基づく排水の監視及び立入検査を実施する。	下水道課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	法等に基づく排水の監視及び立入検査を実施。	法等に基づく排水の監視及び立入検査では、問題ない。	A	A	
221	重複	212-1	雨水浸透ます設置等設置助成金交付事業	雨水浸透ますの設置について、市民に対する支援の情報を広報して設置の協力をお願いし、助成金を交付する。なお、助成対象は昭和63年8月以前に建築された建物である。	下水道課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	申請件数3件、設置浸透ます8個	市民に設置に係る支援の情報を広報して設置の協力をお願いし、昭和63年8月以前の建築物を既存の建物とし、助成金を交付した。	A	A	
221	重複	231-1	雨水貯留施設設置補助	雨水貯留施設設置費補助制度により、雨水貯留施設の設置を推進する。また、雨水貯留施設設置費補助制度の広報を進める。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	「野川環境フィールドワーク」内の散策清掃ワークショップで実施した。	32名が参加し、外来植物を学びながら駆除することができた。	A	A	
222 水辺に親しめる機会の充実																		
222	重複	011-3	野川フィールドワークの実施	市民・事業者・市民団体等と行政が協働して、河川の一斉清掃などを定期的に実施する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	10月6日に「野川環境フィールドワーク」として実施 延べ78人の方が参加された。	野川をフィールドワークに植物および生き物の採集・観察会、清掃活動を通じて野川流域の環境保全を考えていただけのイベントとなった。	A	A	
223 流域単位での他自治体等との連携																		
223		223-1	野川流域連絡会への参加	野川流域連絡会（事務局：東京都建設局）へ参加する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	野川流域の環境に係る啓発や整備等に関する協議を行った。	-	A	-（評価にじまない）	
223		223-2	野川流域環境保全協議会への参加	6市区（本市、国分寺市、三鷹市、調布市、狛江市、世田谷区）で構成される野川流域環境保全協議会へ参加する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	会議に参加し、情報収集を行った。	-	A	-（評価にじまない）	

体系No.		事業や取組の概要				実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				実績（効果）に対する評価	
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」継続「検討」「完了」※年内見直しをシミュレーション上、実施計画書（様式1）の確定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）					当該事業の数値実績（複数可）		実績（効果や課題）	実施状況に対する評価	実績（効果）に対する評価	
						前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）				当該事業の数値実績（複数可）
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点	中期の視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	当該事業の数値実績（複数可）	当該事業の数値実績（複数可）	当該事業の数値実績（複数可）	実績（効果や課題）	実績（効果や課題）	実績（効果）に対する評価
XYZ		XYZ-N																実績（効果）に対する評価
223		223-3	多摩川流域協議会への参加	3都県30市区町村で構成される多摩川流域協議会へ参加する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	会議に参加し、情報収集を行った。	-	A	-（評価にじまない）	
230 水資源の有効利用																		
231 日常生活における雨水利用や節水の推進																		
231	重複	231-1	雨水貯留施設設置補助	雨水貯留施設設置費補助制度により、雨水貯留施設の設置を推進する。また、雨水貯留施設設置費補助制度の広報を進める。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	9基に補助金を交付した。	-	A	A	
231		231-2	節水行動の啓発	環境行動指針の啓発などを通じ節水意識の向上と実践に努める。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	環境行動指針の公開、配布及び雨水貯留施設の設置促進により節水意識の向上に努めた。	-	A	-（その他）	
231		231-3	雨水利用に関する情報発信	雨水利用に関する関連情報をホームページに掲載する。	環境政策課	継続	継続	検討	継続	継続	継続	継続	A	引き続き、パンフレット「雨水活用のススメ」をホームページに掲載している。また、雨水タンクの設置費補助金をHPだけではなく、市公式LINEなども周知し、雨水利用に対して情報発信を行った。	-	A	-（その他）	
231		231-4	雨水利用に関する外部との情報交流	雨水利用の現状やトレンドを把握するため、外部との情報交流を行う。	環境政策課	随時	随時	継続	継続	継続	継続	継続	A	情報収集を行った。	-	A	-（評価にじまない）	
232 災害時における水資源の活用																		
232	重複	232-1	雨水貯留施設設置補助	雨水貯留施設設置費補助制度により、雨水貯留施設の設置を推進する。また、雨水貯留施設設置費補助制度の広報を進める。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	9基に補助金を交付した。	-	A	A	
232		232-2	非常災害用井戸の管理	非常災害用井戸を適正に設置・管理する。	地域安全課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	令和7年3月に保守点検を実施	水質検査の結果、国で定めた水質基準に適合していることを確認。	A	A	
232		232-3	震災対策用井戸の管理	震災対策用井戸を適正に管理する。	地域安全課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	令和7年2月に水質検査（35件）を実施	修理が必要な井戸については、市補助金（上限5万円）を支給しているが、費用が多額で所有者個人での修理が困難になると、協定を解除せざるを得ないことが想定される。	A	A	
300 都市の生物多様性を守り親しむ																		
310 生物多様性の保全																		
311 生物多様性に関する実態の把握																		
311	重複	211-2	湧水調査	市内の湧水調査（水質調査、底生生物調査、付着藻類調査）を行い公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	報告書をホームページに掲載した。	調査結果に異常は見られなかった。	A	A	
311	重複	311-2	自然環境情報の発信	市内の自然観察会の情報を整理し、共有する。	環境政策課	検討・継続	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A	令和6年度実施の野川環境フィールドワーク実施状況をホームページに掲載した。	-	A	A	
312 生き物の生息・生育環境の保全・創出																		
312		312-1	公園における樹木の選定	「小金井市立公園の設計及び維持管理基準」に則り、公園内の樹木を新たに植樹する際には在来種から選定し、生物多様性の確保のため、実のなる樹木を植樹していく。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	在来種であるサツキ等を4公園で合計36株植栽した。	生物多様性を保持するために、新たな植樹候補地を国分寺産緑沿いの公園を中心に検討する。	A	A	

体系No.		事業や取組の概要				実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				実績（効果）に対する評価	
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」継続「検討」「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画書（様式1）の決定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）					当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価	実績（効果）に対する評価
						前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）			
XYZ		XYZ-N																
体系No	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	当該事業の数値実績	当該事業の数値実績（複数可）	当該事業の数値実績	実績（効果や課題）	実績（効果や課題）	実績（効果）に対する評価
312	重複	312-2	野川自然再生事業	野川自然再生協議会に参加し、野川調節池での自然再生事業に係る活動の運営を支援する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		野川第一・第二調整池自然再生協議会に参加した。	-	A	-（評価にしない）
312		312-3	緑化指導における在来種導入	指定開発事業に対する緑化指導の際に、都策定の「植栽時における在来種選定ガイドライン」を参考にし、在来種の導入など生態系に配慮した緑化を働きかける。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		緑化指導に際し、都策定の「植栽時における在来種選定ガイドライン」や市策定の「小金井市立公園の設計及び維持管理基準」に則り、在来種からの選定を指導した。	「植栽時における在来種選定ガイドライン」や「小金井市立公園の設計及び維持管理基準」にある具体的な在来種を中心とした植栽計画が立てられた。ナラ枯れとなる樹種は避けられた計画にすることができた。	A	A
312	重複	312-4	学校ビオトープ等の維持管理	学校花壇・農園・ビオトープ等の適正な維持管理に努める。	指導室	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		学校花壇や農園、ビオトープ等の適正な維持管理	児童・生徒を取り巻く環境が整備された。	A	A
313 外来種対策の推進																		
313		313-1	アライグマ・ハクビシンの防除	アライグマ・ハクビシンの生態や、駆除の必要性を周知、また、捕獲し生息範囲の拡大を防ぐ。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市報・ホームページでの周知を行った。捕獲頭数：10頭（アライグマ5頭・ハクビシン5頭）	アライグマ5頭、ハクビシンを5頭捕獲・駆除し、生息範囲の拡大防止に繋がった。	A	A
313		313-2	外来植物駆除	市民参加による外来植物駆除（野川環境フィールドワーク等）を検討・実施する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		「野川環境フィールドワーク」内の散策清掃ワークショップで実施した。	32名が参加し、外来植物を学びながら駆除をすることができた。	A	A
313		313-3	生物多様性の普及啓発	外来種についての情報を市ホームページで発信する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		定期的外来種についてや関連情報をHPに掲載した。	市ホームページを閲覧した市民や学校から、問い合わせや講演についての依頼があり、生物多様性の普及啓発に繋がった。	A	A
320 自然とのふれあいの推進																		
321 自然について知る機会の創出																		
321	重複	311-2	自然環境情報の発信	市内の自然観察会の情報を整理し、共有する。	環境政策課	検討・継続	継続	検討	検討	継続	継続	継続	A		令和6年度実施の野川環境フィールドワーク実施状況をホームページに掲載した。	-	A	A
321		321-2	緑の環境教育	市内の公立小学校と連携し自然に接しながら緑の大切さを学ぶ環境教育を推進する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		・特別緑地保全地区である滄浪泉園緑地に、市内小学校の校外学習を受け入れた。 ・身近な緑地や公園に中学生の作成物を設置し周知することで、市内小学生が間伐材で作成した園内標識等を設置し周知した。	市内小中学校5校の来園があった。 ・身近な緑地や公園に中学生の作成物を設置し周知することで、市内小学生の身近なみどりの啓発に繋がった。	A	A
322 自然と親しめる機会の創出																		
322	重複	011-3	野川フィールドワークの実施	市民・事業者・市民団体等と行政が協働して、河川の一斉清掃などを定期的実施する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		10月6日に「野川環境フィールドワーク」として実施 延べ78人の方が参加された。	野川をフィールドワークに植物および生き物の採集・観察会、清掃活動を通じて野川流域の環境保全を考えていただけイベントとなった。	A	A

体系No.		事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				実績（効果）に対する評価		
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」を「継続」検討「完了」を「完了」の順に実施する。実施計画書（様式1）の確定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価	実績（効果）に対する評価
						前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）			
体系No	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	当該事業の数値	当該事業の数値実績（複数可）	当該事業の数値実績	実績（効果や課題）	実施状況に対する評価	実績（効果）に対する評価
XYZ		XYZ-N																
322	重複	112-3	市民農園	市民農園の整備を進める。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		<ul style="list-style-type: none"> ■市民農園【市営】農園数：7農園 区画数：286区画 面積：5,577.37㎡ 【民営】農園数：2園 区画数：107区画 面積：2,704㎡ 内容：市民が農作業を通じて土に親しみ、生産の喜びを味わうなど余暇生活の実現に貢献した。	令和6年4月1日から1園開園した。都市農地の賃借の円滑化に関する法律の施行に伴い、生産緑地に市民農園開園も可能になったことから、市内農家が集まる支部別座談会でパンフレットを配布し周知を行った。	A	A
322	重複	011-8	公民館事業	公民館事業（子ども体験講座、市民講座、成人学校等）で環境をテーマとする講座を開催する。	公民館	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		環境をテーマとした講座を複数実施した。	参加者の環境問題への意識を高めることができた。	A	A
322	重複	322-4	田んぼの時間	東京学芸大学がもつ休耕田をフィールドに環境市民会議（環境学習部会）が行う、代掻きから収穫まで体験する活動「田んぼの時間」について、広報等の支援を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		年間で8回行われた活動を広報掲載等の支援を行った。	小金井市環境市民会議との共催事業であり、稲作体験等を通して市民に生物多様性や伝統文化について理解を深めていただいた。	A	A
322		322-5	はげの森調査隊	はげや野川の自然観察会を実施している、はげの森調査隊の活動に対し、市報での周知等の支援を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		はげの森調査隊の、3回実施の事業について後援を行い、市報にて周知した。	身近なみどりを大切にする気持ちの醸成につながった。	A	A
322		322-6	市民団体等が行う自然と親しめるイベントへの協力	市民団体等が行う自然と親しめるイベント（自然観察会、生き物調査等）への支援・協力を進行。	環境政策課	準備（市民団体との関係・実績づくり等）	実施	検討	検討	継続	継続	継続	A		はげの森調査隊の、3回実施の事業について後援を行い、市報にて周知した。	身近なみどりを大切にする気持ちの醸成につながった。	A	A
322		322-7	自然観察会等の情報発信	市民団体主催の自然観察会や生き物調査等の開催情報を市ホームページやSNSで発信する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市報に掲載するほか、公民館などにチラシを配布する等情報発信に努めた。	-	A	-（その他）
400 安全・安心で健康に暮らせる生活環境を守る																		
410 大気汚染や騒音などの公害発生源対策																		
411 事業活動等における公害の発生防止																		
411		411-1	公害関係法令に基づく規制・指導	大気汚染防止法、騒音規制法、東京都環境確保条例など公害関係法令等に基づく規制や指導を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		法令等に基づき対応した。	公害のない環境の創出	A	A
411		411-2	小口事業資金融資あっせん制度における特別整備資金	小金井市小口事業資金融資あっせん制度により、特別整備資金のあっせんを行い、特定金融機関から融資を受けた際の利子及び保証料の一部を補助する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B	0件		当該融資メニューの周知を図る。	B	B
411		411-3	アスベスト排出等作業実施届出受付	アスベスト排出等作業実施届出受付（2000㎡以下）と現場立会いをする。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		法令等に基づき対応した。	大気汚染防止法届出：3件	A	A
411		411-4	土壌・地下水汚染対策の啓発	土壌・地下水汚染対策について、事業所等に啓発する。ホームページやパンフレット等による情報提供を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		パンフレット等による周知	-	A	A
412 自動車由来の騒音や排気ガス等の低減																		
412	重複	721-1	小金井市コミュニティバス運行事業（及び同再編事業）	小金井市コミュニティバス（CoCoバス）を運行する。また、運行ルートの見直しを含めた総合的な検証も行う。	交通対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通活性化協議会4回開催 ・交通ネットワーク再編事業部会2回開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画を策定（R7～R14年度） ・路線バスとCoCoバスを合わせた交通ネットワーク再編事業に着手した 	A	A

体系No.		事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				実績（効果）に対する評価		
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」を「継続」検討「完了」 ※市内環境マネジメントシステム上、実施計画書（様式1）の策定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）					当該事業の数値実績（複数可）		実績（効果や課題）	実施状況に対する評価	実績（効果）に対する評価	
						前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）				当該事業の数値実績（複数可）
体系No	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点	中期の視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	当該事業の数	当該事業の数値実績（複数可）	当該事業の数値実績	実績（効果や課題）	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価
XYZ		XYZ-N																
412	重複	721-2	自転車駐車場整備事業	JR中央本線の高架下を含む駅周辺への自転車駐車場の整備を進める。	交通対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		新たな自転車駐車場整備はなかった	民間から土地を借用して運営していることが多くことから、恒久的に使用できる土地の確保が必要。	A	B
412		412-3	グリーン購入の推進	公用車の買い換えの際は、グリーン購入ガイドラインに基づき環境負荷の少ない車両を導入する。	関係各課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		車両1台（ガソリン車）を購入し、車両2台のリースを開始した。	車両が古くなったため購入、リースを行った。（長距離移動が必要なため、電気自動車ではなく、ガソリン車尾の購入となった。）	A	B
413 農業・化学物質・その他の環境汚染物質対策																		
413		413-1	除草剤や殺虫剤の適正使用の周知	広報や市ホームページを通じて、除草剤や殺虫剤の適正使用を周知する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		市報や市ホームページによる周知	-	A	A
413		413-2	残留農薬検査	残留農薬検査に対し補助を行い、低農薬で安全な作物の生産を推奨する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		■残留農薬検査件数：2件	ウリ科の作物の土壌検査の補助を実施した。	A	A
413		413-3	化学物質に関する情報提供	PRTR制度（法）や化学物質適正管理制度（都条例）に基づき、化学物質取扱い事業所に対し使用量報告を求め、また、化学物質の環境リスクに関する情報をホームページ等により提供する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		法令等に基づき対応した。	都条例に基づき届出：12件 市条例に基づき届け出：6件	A	A
413		413-4	シックハウス状況調査	公共施設（市立保育園）における机・椅子・コンピュータ等の備品購入の際、必要に応じてシックハウス状況の調査測定を行う。	保育課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		冷暖房機、掃除機、冷蔵庫等の購入	購入の際、シックハウスの原因となる「ホルムアルデヒド」をはじめとした有害物質をまったく使用していないか、F☆☆☆☆等級の資材を使用した商品であることを確認した。	A	A
413		413-5	シックハウス状況調査	市立小・中学校における机・椅子・コンピュータ等の備品購入の際、必要に応じてシックハウス状況の調査測定を行う。	学務課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		教室等空気環境衛生検査測定を小学校2校にて実施した。	教室内の環境が基準値内であることが確認できた。	A	A
413		413-6	空間放射線量の測定	認可保育園、幼稚園等における空間放射線量の測定結果を市ホームページ等により情報提供する。	保育課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		空間放射線量の測定	問題のある線量は測定されず。測定結果を市ホームページにて公表。	A	A
413		413-7	空間放射線量の測定	児童館・学童保育所における空間放射線量の測定結果を市ホームページ等により情報提供する。	児童青少年課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		-	令和6年9月に児童館・学童保育所を対象に実施。	A	A
413		413-8	空間放射線量の測定	市立小・中学校における空間放射線量の測定結果を市ホームページ等により情報提供する。	庶務課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		8月に小・中学校（全14校）の測定実施及び結果公表を行った。	安心安全な学校環境の整備のための状況把握。	A	A

体系No.		事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				実績（効果）に対する評価			
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」を「継続」に「完了」に ※市内環境モニタリングシステム上、実施計画書（様式1）の確定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）					当該事業の数値実績（複数可）		実績（効果や課題）	実施状況に対する評価	実績（効果）に対する評価		
						前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）			A…継続（概ね同じ内容・規模） B…拡大・新たな展開 C…縮小・廃止・完了	
体系No	事業等	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	当該事業の数値	当該事業の数値実績（複数可）	当該事業の数値実績	実績（効果や課題）	実績（効果や課題）	実績（効果）に対する評価	
XYZ		XYZ-N																	
413		413-9	給食用食材の放射能測定	給食用食材に含まれる放射性物質の測定を行い、測定結果を市ホームページで公表する。	地域安全課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	小中学校280件、保育園322件の検査結果を市ホームページより公表した。		市ホームページでの測定結果更新作業については、保育課及び学務課が対応し、広く周知することができた。	A	A	
413		413-10	食品の放射能測定	希望する市民に対し、食品の放射能測定を、小金井市放射能測定器運営連絡協議会との協働で実施する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	測定件数45件（一般市民）		測定を実施するにあたり協議会の人員的体制が取りづらく状況が継続している。	A	A	
413		413-11	放射線量測定器の貸出	空間放射線量を測るための簡易測定器を希望する市民へ貸し出す。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	貸出希望がなかった。		令和6年度：0件	A	A	
420 環境のモニタリングやコミュニケーション																			
421 大気汚染や騒音などの継続的な環境モニタリングと情報発信																			
421		421-1	ダイオキシン類に係る大気環境調査	大気中のダイオキシン類の調査を毎年実施し、環境報告書等により測定結果を公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	夏・冬季にそれぞれ2カ所で測定。		いずれも環境基準値以下。	A	A	
421		421-2	住宅や沿道における二酸化窒素の測定	住宅地や交差点において、自動車排気ガスに由来する二酸化窒素濃度を測定（簡易測定法）し、環境報告書等により測定結果を公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	市内50カ所で測定。		いずれも環境基準値以下。	A	A	
421		421-3	大気中の浮遊粒子状物質の測定	大気中の浮遊粒子状物質の調査を行い、環境報告書等により測定結果を公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	市内2カ所で測定。		いずれも環境基準値以下。	A	A	
421		421-4	沿道における騒音・振動調査	市内の沿道において、騒音・振動調査を行い、環境報告書等により測定結果を公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	6本の都道で騒音及び振動を測定。		いずれも要請限度以下。	A	A	
421	重複	032-1	環境報告書の公表	環境基本計画に基づき実施された施策の進捗状況、市の環境情報を記載した環境報告書を毎年公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	令和5年度版を作成・公表した。		第3次環境基本計画に合わせた改訂を実施した。	A	A	
422 安全・安心のための話し合いやルールづくり																			
422		422-1	苦情処理・相談への対応能力開発	国、都等の研修制度を利用し、苦情処理・相談に対する対応方法等の向上を図る。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	東京都が実施する研修等に参加した。		-	A	A	
500 美しく住み心地のよいまちを守る																			
510 景観の保全・活用																			
511 景観保全・創出に係る取組の実施																			
511		511-1	地区まちづくりの推進	「小金井市まちづくり条例」に規定される、地区まちづくり計画及び協議会、テーマまちづくり、地区計画、建築協定等のしくみが活用されるよう、周知や各種支援を行う。	まちづくり推進課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	武蔵小金井駅北口地区地区計画を都市計画決定した。		まちづくりの推進	A	A	
512 景観資源を活用する取組の充実																			
512		512-1	小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会	「小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会」を開催する。委員会の意見を踏まえ、玉川上水及びその周辺環境を保全する。	生涯学習課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	3回実施		史跡・名勝に配慮した視野橋補修工事を検討した。	A	A	
512		512-2	玉川上水・小金井桜整備活用事業（補足：東京都と連携）	「小金井市玉川上水・小金井桜整備活用計画」、「史跡玉川上水整備活用計画」（東京都）に基づき、サクラ並木の再生を進める。また、歴史的遺産として、まちの魅力向上に向け、積極的に市内外にPRする。	生涯学習課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	名勝指定100周年記念を市民・事業者等と連携して実施	ヤマザクラ17本補植		小金井桜をきっかけに市の魅力を発信できた	A	A
512		512-3	まちなか観光案内	市民ボランティアガイドの協力を得て行うまちなか観光案内、市内の観光スポットをテーマ別に結んだ「小金井まち歩きマップ」の作成等、小金井観光まちおこし協会が行う取組を支援する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	募集ツアー8回 リクエストツアー11回		募集ツアーの回数を前年度よりも増やし、参加人数も増加した。	A	A	
512		512-4	重要な文化遺産の保護・活用	重要な文化遺産は、文化財に指定し保護・活用を図る。また、情報発信として文化財センターの他、まちかど歴史ミュージアム事業を展開する。	生涯学習課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	小平市と連携した史跡めぐりを実施	旧中村研一郎の活用		新たな活用方法を見出した	A	A
520 美しいまちなみの維持																			

体系No.		事業や取組の概要				実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				実績（効果）に対する評価	
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」継続「検討」「完了」※作内環境マネジメントシステム上、実施計画書（様式1）の確定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）					当該事業の数値実績（複数可）		実績（効果や課題）	実施状況に対する評価	実績（効果）に対する評価	
						前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）				当該事業の数値実績（複数可）
体系No	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	当該事業の数	当該事業の数値実績（複数可）	当該事業の数値実績	実績（効果や課題）	実績（効果）に対する評価	実績（効果）に対する評価
521 美しいまちなみの維持																		
521		521-1	定期的なパトロールの実施等	定期的なパトロールを実施し、不法投棄厳禁、ポイ捨て禁止等の啓発看板を設置する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		不法投棄やポイ捨ての多い箇所へのパトロールを実施し、市民に対しては各種啓発看板を配布した。路上禁煙地区については、清掃活動の実施及び路面標示の設置を行った。	パトロールや啓発活動で防止対策を取っているが、不法投棄やポイ捨ては個人のマナーに頼る部分が大きく、完全に撲滅することは困難である。	A	A
521		521-2	屋外広告物のマナーの向上に関するパンフレット	屋外広告物のマナーの向上に関するパンフレットを作成し配布する。	道路管理課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		違反処理による除却枚数：はり紙526枚、はり札等1枚、広告旗1本、立看板等9枚	-	A	A
521	重複	521-3	環境美化サポーター制度（道路）	小金井市環境美化サポーター制度実施要綱による環境美化サポーター制度や意義向上を図る。	道路管理課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		団体及び個人により市道等の清掃が行われている。会員数は70名。市民との協働による環境美化活動を推進した。	-	A	A
521	重複	132-1	環境美化サポーター制度（公園）	「小金井市環境美化サポーター制度実施要綱」に基づく環境美化サポーター制度の活用促進する。また、公園で活動する環境美化サポーターに対して、用具の提供や廃棄物処理手数料の免除の支援を行うとともに、ボランティア同士の情報交換会を定期的に実施する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		新たに1団体が登録し、用具の提供等を行った。情報交換会や意見交換会も定期的に、新規ボランティアとサポーター同士の横のつながりを作るためにボランティア養成講座を実施した。また、ボランティア養成講座を実施した。環境美化サポーター数（公園）363名	活動の継続、モチベーションの向上を図るための情報交換会やボランティア同士の交流の機会を図ることができた。	A	A
521		521-5	放置自転車撤去事業	公道にある放置自転車等を継続的に撤去し、駐車秩序の確立を図り、良好な都市環境を保持する。	交通対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		撤去台数：689台	撤去台数が減少しており、良好な都市環境を保持できている。	A	A
522 まちの魅力向上																		
522	重複	111-2	保存樹木、保存生け垣の指定	小金井市緑地保全及び緑化推進条例に基づき、保存樹木、保存生け垣を指定するとともに、制度について分かりやすく周知を図る。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和6年度に見直し新規申請時期の緩和について、市報及びホームページにて周知した。（保存樹木 794本）	市報及びホームページにより効果的に情報発信に努めた。	A	A
522		-	-	（上記を含め、基本目標2に示した緑化の推進に関する取組が該当する。）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
600 3R推進で循環型のまちをつくる																		
610 発生抑制を最優先とした3Rの推進																		
611 日常生活における3Rの徹底																		
611	重複	611-1	食育ホームページ	食と環境（地産地消）について考えてもらうためのサイト「食育ホームページ」は、ボランティアからなる食育ホームページ編集委員会が作成・更新する。	健康課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		数値実績なし	小金井産の野菜を使用したレシピを季節に合わせて掲載している。	A	A
611		611-2	生ごみ減量化処理機器購入費補助制度	生ごみ減量化処理機器を購入する家庭、団体、事業所に対し、購入費の一部を補助する。市報、ホームページ等により制度を広く周知する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		R6年度実績 211件（電動式200件、手動式1件、コンポスト10件）	昨年度とほぼ横ばいの実績であった。昨年は0件であった事業系生ごみ処理機の申請が今年度1件あり。	A	A
611		611-3	不用品交換コーナー	家庭で使わなくなった物を譲りたい方、譲ってほしい方に利用してもらうための「不用品交換コーナー」（第二庁舎4階）の活用を市報等で周知する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		84件	申請件数は一定数あるものの、掲示期限を過ぎて成立に至らないケースも散見される。より効果的な周知方法の検討が課題。	A	A

体系No.		事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				実績（効果）に対する評価		
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」継続「検討」「完了」※市内環境マネジメントシステム上、実施計画書（様式11）の策定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）					当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価	実績（効果）に対する評価
						前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）			
体系No	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	当該事業の数値実績	当該事業の数値実績（複数可）	当該事業の数値実績	実績（効果や課題）	実績（効果や課題）	実績（効果）に対する評価
XYZ		XYZ-N																
611		611-4	小金井市消費者団体連絡協議会の支援	小金井市消費者団体連絡協議会が行う（リサイクルバザー、おもちゃの病院、食器リサイクル）の取組を支援する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	食器回収…227.0kg 食器リユース市…81人（R5年度をもっておもちゃの病院は脱退済み）	今後も継続して市報・HP等で広く周知していく。	A	A	
611		611-5	生ごみ堆肥化事業	大型の電動生ごみ処理機を市内小・中学校、保育園、集合住宅等に設置し、投入され生ごみを電動生ごみ処理機で乾燥処理した後、民間堆肥化製造施設で完熟堆肥化する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	市内小中学校や集合住宅から生ごみ乾燥物の回収を行い、生ごみ乾燥物から製造された堆肥を38,288kg購入した。	電動生ごみ処理機を設置している市内小中学校、集合住宅について、投入後の生ごみ乾燥物を民間堆肥化製造施設へ運搬し堆肥化を行った。保育園については、電気を使用しない等の観点から電動生ごみ処理機を撤去し、生ごみを直接民間堆肥化製造施設へ運搬し堆肥化を行った。	A	A	
611		611-6	剪定枝の活用（公園緑地）	公園緑地で剪定された枝葉を再資源化する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B	各公園での剪定や回収を行った枝葉について、親野公園のヤードに集めた積層及び実施時期の調整により	-	枝葉の処分について、量や時期について、次年度にはできるよう調整を行う。	B	B
611		611-7	緑のリサイクル（街路樹）	街路樹の管理委託業者に、発生した枝葉等のリサイクル（チップ化等）に努めるように指示する。	道路管理課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	再利用できる施設に搬入するよう指導。実績：147.4 t	-	-	A	A
611		611-8	剪定枝・落葉・雑草を堆肥化	市立小・中学校において、剪定枝・落葉・雑草を堆肥化し畑や花壇に利用するとともに、燃やすごみを減量する。	学務課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	剪定したものを枝木収集によりリサイクルしている。太枝については、請負業者がリサイクルしている。	剪定したもののリサイクル化を行い、ごみの減量につなげることができた。	A	A	
611		611-9	剪定枝・落葉・雑草を堆肥化	市立保育園において、剪定枝・落葉・雑草を堆肥化し燃やすごみを減量する。	保育課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	廃棄物減量	落葉等を資源物回収に出し、堆肥化している。	A	A	
612 分別・減量を徹底する啓発活動の強化																		
612		612-1	清掃指導員（市職員）による分別指導	清掃指導員（市職員）による分別指導を強化する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	市民からの要望等があった際に随時清掃指導員を派遣し、分別相談及び指導を行った。	現地で指導員が現物確認することにより、具体的に適切な指導ができています。	A	A	
612	重複	612-2	市報でのごみ減量・リサイクル特集記事	市報に「ごみ減量・リサイクル特集」を掲載する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	市報に「ごみ減量・リサイクル特集」を年3回（7月、12月、3月）掲載し、各種イベント情報や正しい分別方法の周知、ごみ減量の啓発を図る。	転出入者が多いので、くわえし周知や啓発を行うことが必要となる。	A	A	
612		612-3	ごみ減量キャンペーン	ごみ減量キャンペーンとして、各種イベントや街頭での呼びかけ、啓発グッズ作成・配布等を行う。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	令和7年3月24日、新しい資源物処理施設「メタウォーターサステナブルパーク」が新しいの竣工に伴うオープニングイベントを開催した。	小学生や保護者の参加者が200名を超える規模となった左記フェスティバルでは、クイズ大会やかるた、魚釣りゲームなどのアトラクションを実施し、子供たちへのごみ減量啓発キャンペーンを行った。	A	A	
612		612-4	ごみ・リサイクルカレンダーの発行	ごみ・リサイクルカレンダーを全戸配布する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	全11地区、合計82,000部作製し、3月に全戸配布した。	前年度の配布状況などから各地区の作成部数の見直しを行い、同数の部数を作製した。	A	A	

体系No.		事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				実績（効果）に対する評価		
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期の視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」継続「検討」「完了」 ※市内環境マネジメントシステム上、実施計画書（様式1）の策定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）					当該事業の数値実績（複数可）		実績（効果や課題）	実施状況に対する評価	実績（効果）に対する評価	
						前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）				当該事業の数値実績（複数可）
612	重複	612-5	スマートフォン用ごみ分別アプリの配信	スマートフォンなどでごみの収集日や分別方法などを確認できるごみ分別アプリを配信する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	カレンダー等の広報にてごみ分別アプリの周知を行い、発生抑制を優先とした3R（発生抑制、リユース、リサイクル）について情報提供することで、より多くの市民に啓発を行うことができた。	昨年度比でごみ分別アプリダウンロード数が増加した。 R4年度DL数：3,992件 R5年度DL数：4,256件 R6年度DL数：4,675件	A	A	
612	重複	612-6	くま出張講座	市のごみの分別やごみ処理の行方、リサイクルについてなどを分かりやすく解説する出張講座を行う。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	出張講座（7回）等で啓発活動を実施。（オンラインでの学習教材等提供で対応できるようにしたが、より充実していく必要がある。）	出張講座に際し使用する教材のデジタル化により、教育委員会への提供、HP掲載による周知効果の向上を図る。	A	A	
612		612-7	ごみ処理施設市民見学会	燃やすごみがどのように処理されているかを理解し、ごみ減量・分別の徹底を推進するため市民見学会を実施する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	市民を対象とし、日野市所在の浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設の見学を実施した。	今後も施設見学を継続し、市民への環境啓発を図る。	A	A	
612	重複	612-8	リサイクル推進協力店認定制度	ごみの減量・資源化の推進に取り組んでいる店舗を「リサイクル推進協力店」として認定し、市報や市ホームページ等を通じて積極的に紹介する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	市報特集号にて3回（7月、12月、3月）、新たなリサイクル推進協力店を随時掲載し、紹介した。	親しみやすくするために認知度の高いごみ減量啓発キャラクターを使用することで、幅広い世代に周知が図られている。	A	A	
612		612-9	リユース食器の貸し出し	祭りやイベントで発生するごみ（使い捨て容器や割りばし）を減らすため、専門業者による洗浄により繰り返し使用できるリユース食器の貸し出しを行う。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	17件	徐々に社会全体が新型コロナウイルス蔓延前の状態に戻ってきており、イベント開催自体が増え、リユース食器の貸し出し件数も増加傾向にある。	A	A	
612		612-10	市内グリーン購入の推進	「小金井市グリーン購入方針」及び「同ガイドライン」に基づき市内のグリーン購入を行い、その実績をホームページで公表する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	実績をホームページに公表した。	市のグリーン購入の取組を周知できた。	A	A	
612		612-11	マイバッグキャンペーン	消費生活展や消費者ルームまつり等において、啓発用グッズを配布し、マイバッグ持参を奨励する。	経済課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B	キャンペーンにはしていないが、消費者ルームまつり等において、マイバッグ持参を奨励した。	-	B	A	
613 事業活動における3Rの推進																		
613		613-1	排出状況調査等	事業所の排出状況調査及び分別等の指導を行う。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	東京都環境公社による「3Rアドバイザー派遣事業」を活用し、「廃棄物の減量及び再利用に関する計画書兼実績報告書」の中で浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設へ搬入した。	大規模事業所「65件」、市施設「21件」の排出状況調査を実施し、そのうち「7件」について、立入検査を実施した。	3Rアドバイザー事業を本年度実施した結果、市内大規模事業者に対して、廃食油の有償売却等の資源化ルート活用や備前品の取り扱いに係る助言等、資源化率の改善、ごみの減量及び資源化促進に資する提案を行うことができ、市単独の調査指導よりも効果的な事業とすることができた。	A	A
613	重複	612-8	リサイクル推進協力店認定制度	ごみの減量・資源化の推進に取り組んでいる店舗を「リサイクル推進協力店」として認定し、市報や市ホームページ等を通じて積極的に紹介する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	市報特集号にて3回（7月、12月、3月）、新たなリサイクル推進協力店を随時掲載し、紹介した。	親しみやすくするために認知度の高いごみ減量啓発キャラクターを使用することで、幅広い世代に周知が図られている。	A	A	
620 安全・安心・安定的な適正処理の推進																		
621 地域と連携した収集・運搬の推進																		

体系No.		事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				実績（効果）に対する評価		
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」 「継続」 「検討」 「完了」 ※年内見込マニフェストシステム上、実施計画書（様式1）の確定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）					当該事業の数値実績（複数可）		実績（効果や課題）	実施状況に対する評価	実績（効果）に対する評価	
						前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）				当該事業の数値実績（複数可）
体系No	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	当該事業の数値	当該事業の数値実績（複数可）	当該事業の数値実績	実績（効果や課題）	実績（効果や課題）	実績（効果）に対する評価
XYZ		XYZ-N																
621	重複	612-5	スマートフォン用ごみ分別アプリの配信	スマートフォンなどでごみの収集日や分別方法などを確認できるごみ分別アプリを配信する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		カレンダー等の広報にてごみ分別アプリの周知を行い、発生抑制を最優先とした3R（発生抑制、リユース、リサイクル）について情報提供を行うことで、より多くの市民に啓発を行うことができた。	昨年度比でごみ分別アプリダウンロード数が増加した。 R4年度DL数：3,992件 R5年度DL数：4,256件 R6年度DL数：4,675件	A	A
621		621-2	環境負荷の少ないごみ収集車両への更新	ごみ収集車両の買い換えの際には、環境負荷の少ない車両を購入する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		直営の車両では導入実績は無いが、委託業者の車両については買い替えの際に環境負荷の少ない車両の導入を行っている。	ごみの収集についてはほとんどのごみが委託により収集を行っている。	A	A
621		621-3	ふれあい収集事業	ごみ出しが困難な世帯（高齢者、障がいのある方等）を対象に、戸別訪問による家庭ごみの収集を行うとともに、安否確認も行う。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		申し込まれた世帯について、定期的なふれあい収集を行っている。	新型コロナウイルスの影響などにより対面の聞き取り調査があまり出来ず、きめ細やかな対応が難しくなっている。	A	A
622 適切な処理・処分推進																		
622		622-1	浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設	浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設（日野市内）において燃やすごみを焼却処理し、焼却灰はセメント原料としてリサイクル処理する。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和6年度実績焼却残さ搬入量 1,051 t	-	A	A
622		622-2	積替え保管施設・資源物処理施設の運営	積替え保管施設・資源物処理施設において、（不燃・粗大系、プラスチック・びん・缶・ペットボトル・布等）の資源化を進める。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		令和6年度資源化量 2,786,336kg	令和6年度資源化量 2,786,336kg 廃棄物処理による環境負荷を削減 小金井市野川クリーンセンター（不燃・粗大ごみ積替え・保管施設）の安定稼働と合わせて、新たに令和7年3月24日からメタウォーター・サステナブルパークがねい（小金井市資源物処理施設）が本格稼働したことで不燃・粗大系ごみやプラスチック・びん・缶・ペットボトル・布等の資源物系ごみの処理工程を整理することができた。	A	A
622		622-3	清掃関連施設整備事業	清掃関連施設整備基本計画に基づき、清掃関連施設（不燃・粗大系、プラスチック・びん・缶・ペットボトル・布等の資源物系）の整備を進める。	ごみ対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		メタウォーター・サステナブルパークがねい（小金井市資源物処理施設）が令和7年3月21日竣工、同月24日から本格稼働をもって本事業を完了した。	-	A	A
623 廃棄物処理を支える体制の確立																		
623		-	-	（基本目標6の各取組のほか、関係機関や事業者と情報共有、事業コスト管理、環境資金の有効活用等を通じて支える体制の確立・継続を図る）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
700 エネルギーを賢く使い、低炭素なまちをつくる																		
710 家庭・事業所における低炭素化の推進																		
711 建物の低炭素化の促進																		
711	重複	711-1	住宅用新エネルギー機器等普及促進補助	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		計262件、設置に対して補助金を交付した。	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援することで、地球温暖化防止啓発に寄与した。	A	A
711		711-3	省エネ改修工事に伴う固定資産税の減額	一定の要件を満たす省エネ改修工事（熱損失防止改修工事）を行った住宅について、申告により翌年度分の固定資産税（家屋分）を減額する。	資産税課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	4件		住宅における熱損失防止改修工事の促進	A	-（その他）

体系No.		事業や取組の概要				実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				実績（効果）に対する評価		
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」を「継続」に「完了」にする。また、実施計画書（様式1）の策定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）。					当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価	実績（効果）に対する評価	
						前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）				
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	当該事業の数値	当該事業の数値実績（複数可）	当該事業の数値実績	実績（効果や課題）	実績（効果や課題）	実績（効果）に対する評価	
XYZ		XYZ-N																	
711		711-4	公共施設の低炭素化	公共施設の建設・改修工事において、省エネルギー性能の高い機器、太陽光発電等の再生可能エネルギー機器、雨水貯留施設等の設置を検討する。	関係各課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	-		検討中	-	-（その他）	
712 機器・設備の低炭素化の促進																			
712	重複	712-1	住宅用新エネルギー機器等普及促進補助	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	計262件、設置に対して補助金を交付した。		住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援することで、地球温暖化防止啓発に寄与した。	A	A	
712		712-3	フロン類の回収・処理についての情報提供	市民・事業者に対し、フロン類が適正に回収・処理されるようチラシ、パンフレット等による情報提供を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	カウンターへのチラシの設置やHPでの情報提供をした。		-	A	A	
712		712-4	公共施設における環境配慮施設等の設置	公共施設の整備に際して、環境に配慮した施設整備を促進するとともに、建替えや大規模改修の際には、太陽光発電・太陽熱温水器等の設置を検討する。	関係各課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	-		検討中	C	-（その他）	
713 低炭素化につながる行動・活動の普及促進																			
713	重複	031-2	「小金井環境行動指針」の活用	「小金井市環境行動指針」を活用する。（市ホームページ、環境フォーラム等のイベント等）	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	市ホームページで公開するほか公共施設や環境フォーラムで配布した。		関心のある市民に手にとってもらえる環境を整備できた。	A	A	
713		713-2	省エネチャレンジ事業	エネルギー消費の削減量に応じて商品券や商品との交換が可能なポイント制度を実施する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	家庭部門から50件の申し込みがあり、50件中38件の報告書が提出された。		一般家庭及び事業所に日頃のエネルギー使用について考え、省エネ行動に取組んでもらうきっかけを提供できた。	A	A	
713		713-3	環境マネジメントシステム導入事業所に対する優遇措置	環境マネジメントシステム（ISO14001、エコアクション21等）を導入している事業所の優遇措置を検討・拡大する。	環境政策課	検討	継続	検討	検討	継続	継続	継続	C	次年度以降検討	未実施	未実施	B	-（その他）	
720 移動における低炭素化の推進																			
721 交通手段の転換の促進																			
721	重複	721-1	小金井市コミュニティバス運行事業（及び同再編事業）	小金井市コミュニティバス（CoCoバス）を運行する。また、運行ルートの見直しを含めた総合的な検証も行う。	交通対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	・地域公共交通活性化協議会4回開催 ・交通ネットワーク再編事業部会2回開催		・地域公共交通計画を策定（R7～R14年度） ・路線バスとCoCoバスを合わせた交通ネットワーク再編事業に着手した	A	A	
721	重複	721-2	自転車駐車場整備事業	JR中央本線の高架下を含む駅周辺への自転車駐車場の整備を進める。	交通対策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	新たな自転車駐車場整備はなかった		民間から土地を借用して運営していることが多いことから、恒久的に使用できる土地の確保が必要。	A	B	
722 自動車の低炭素化の促進																			
722		722-1	エコドライブの普及啓発	チラシ、パンフレット等によるエコドライブに関する普及啓発を行う。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A			環境政策課窓口にて配布した。	-	A	A
722		722-2	次世代自動車普及促進補助金	次世代自動車購入を促進するため、補助制度を実施する。	環境政策課	検討・継続	継続	検討	継続	継続	継続	継続	A	令和4年度から次世代自動車普及促進補助金の交付を開始した。	予算額3,800千円を計上し、多くの申請をいただき、全額を早期に使い切ることができた。		電気自動車20件、プラグインハイブリッド自動車18件の計38件の申請があった。	A	A

体系No.		事業や取組の概要			実施計画		実施計画年次（前期）					毎年の進捗管理における記入欄				実績（効果）に対する評価		
体系No.	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点からの事業展開の方向性		4つの方向性：「実施・充実」継続」「検討」「完了」 ※市内環境マネジメントシステム上、実施計画書（様式1）の確定及び実績報告書（様式4）の記入が必要（別シート参照）					当該事業の数値実績（複数可）			実績（効果や課題）	実施状況に対する評価	実績（効果）に対する評価
						前期5年間（R3～7年度）	後期5年間（R8～12年度）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	A…実施中 B…未実施 C…完了・廃止 D…その他	左記の理由や詳細（A以外の場合のみ記入）	当該事業の数値実績（複数可）			
体系No	事業等の重複	固有No.	事業等の名称	事業等の概要	所管課名	中期的視点	中期的視点	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	当該事業の数値実績	当該事業の数値実績（複数可）	当該事業の数値実績	実績（効果や課題）	実績（効果や課題）	実績（効果）に対する評価
XYZ		XYZ-N																
722		722-3	次世代自動車を利用しやすい環境づくり	公共施設の建設・改修工事の際は、急速充電設備の設置等、次世代自動車の利用しやすい環境づくりを検討する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	B		ホームページなどで情報発信はしているが、次世代自動車の利用しやすい環境づくりの検討までには至っていない。	環境づくりの検討までには至っていないが、令和4年度から補助金の交付を始め、市民の方々の関心は高まってきている。	B	-（その他）
730 気候変動適応策の推進																		
731 気候変動適応に関する普及啓発																		
731		731-1	気候変動に関する情報発信	市のホームページや、広報紙、パンフレット等様々な媒体を通して、気候変動による影響や適応の必要性、技術動向や国・都の政策、市民や事業者が実施可能な対策等に関する情報を発信する。 また、気候市民会議等を通して環境啓発意識の強化を図る。	環境政策課	検討・継続	継続	検討	継続	継続	継続	継続	A		市HPや環境フォーラムなどで情報発信を努めた。	環境フォーラム内で実施した気候変動に関する意識調査では想定以上の回答数があり、気候変動に対する市民の関心が高まっていることが見て取れた。	A	A
732 気候変動による影響の把握																		
732		732-1	気候変動による影響の把握	市域で起こっている気候変動による影響について把握に努める。水環境や自然生態系については、水質や水量、動植物の調査により変化の程度や内容を把握する。	環境政策課	検討・継続	継続	検討	継続	継続	継続	継続	A		地下水保全会議で情報提供を呼び掛けた。また、水質等の報告書について報告した。	今後、地下水保全会議等で情報収集に努める。	A	A
733 暑熱対策の推進																		
733	重複	121-5	小・中学校の運動場芝生維持管理	小・中学校（6校）の運動場芝生維持管理を進める。	庶務課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		小・中学校（6校）の運動場芝生維持管理を行った。	ボランティアの参画による地域連携と芝生を活かした教育活動に貢献している。	A	A
733		733-2	街なかでのクールスポット創出	まちなかや公共施設に、緑のカーテンやミストの設置などによるクールスポットの創出を検討する。	関係各課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A	-	-	検討中	-	-（その他）
734 災害対策の推進																		
734	重複	212-1	雨水浸透ます設置等設置助成金交付事業	雨水浸透ますの設置について、市民に対する支援の情報を広報して設置の協力をお願いし、助成金を交付する。なお、助成対象は昭和63年8月以前に建築された建物である。	下水道課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		申請件数3件、設置浸透ます8個	市民に設置に係る支援の情報を広報して設置の協力をお願いし、昭和63年8月以前の建築物を既存の建物とし、助成金を交付した。	A	A
734		734-2	小金井市防災マップ等の作成公表	浸水予想区域や土砂災害警戒区域の情報を掲載した「小金井市防災マップ」の作成・配布を行う。また、市ホームページで小金井市防災マップ、東京防災などの情報提供を行う。	地域安全課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		窓口やイベント等で配布を行うとともに、令和7年3月に全面改訂し、市内の全世帯・事業所への配布を行った。	防災マップは媒体の性質上、最新の情報を反映させることが困難であるので、市ホームページ・X等で補充していく必要がある。	A	A
734	重複	711-1	住宅用新エネルギー機器等普及促進補助	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援する。	環境政策課	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	A		計262件、設置に対して補助金を交付した。	住宅における再生可能エネルギー機器等の設置を支援することで、地球温暖化防止啓発に寄与した。	A	A